



# 学びの広場



京都市教育委員会  
教員養成支援室  
令和8年2月21日 No.10

## 授業実践講座①

【講義】各校職種の教科・領域における「授業づくりのポイント」【学習指導案作成】

### 午前中



中学校【国語】【社会】【数学】【理科】【保健体育】【英語】

高等学校【国語】【情報】【英語】

総合支援学校

養護教諭

### 午後



小学校

中学校【音楽】【美術】【家庭】

高等学校【地理歴史公民】

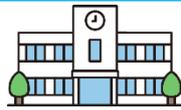
栄養教諭



全8回となる京都市教育学講座を終え、京都教師塾の最後のカリキュラムである授業実践講座①②が始まりました。授業実践講座①では、総合教育センターの指導主事による講義と指導案作成の演習を通じて、よい授業づくりのためのポイントや指導者として大切にしなければならない視点を学びました。講義後の分會では、目的を明確にした学習活動を考えたり、児童生徒の実態を想定した上で指導・支援を工夫したり、中心発問を吟味したりと、同じ校種・職種を目指す塾生同士で活発にディスカッションする姿が見られました。

講義での学びやディスカッションで得た気付きを生かしながら学習指導案を作成し、本日からはいよいよ授業実践講座②【模擬授業】が始まります。7分間の模擬授業が「うまくいった」「いかなかった」という結果だけにとらわれるのではなく、教材研究や指導案作成、実際に授業をする過程で考えたことや感じたこと、指導主事の先生方からの助言等も踏まえ、自分自身の姿を客観的に振り返ってみましょう。その中で見つけた自身のよさや強みはさらに伸ばし、改善していきたいと思った部分については課題の克服に向けて取り組んでいくというように、教職を目指すこれからの歩みにしっかりとつなげてほしいと思います。

# 京都市立学校実地研修



京都教師塾の4つの柱となる講座の1つに、【京都市立学校実地研修】があります。塾生は、小学校・中学校・高等学校・総合支援学校など様々な校種の学校にお世話になり、10月から2月にかけて5日間の研修を行っています。

この研修では、朝の挨拶にはじまり、授業、休み時間、放課後の部活動など、様々な教育活動に参加します。学年や教科にかかわらず、多くの児童生徒と触れ合うことで、一人一人の声や表情、行動などから子ども理解を深めた塾生。適切な支援方法や児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり、児童生徒が安心して過ごせる学級経営や教職員間のチームワークの大切さについて学んだ塾生など、学校現場で児童生徒や教職員と関わるからこそ得られた学びが数多く見られました。

2月に入り、研修を終える塾生も増えてきました。これまで教育学講座で学んできた内容とも結びつき、「学んだことを現場で確かめ、また講座内容を振り返りながら理解を深める」という姿勢が、塾生のレポートからも伺えました。ここでは、実地研修を終えた塾生のレポートの一部をご紹介します。



## 仲間のレポートに学ぶ



5日間の小学校実地研修を通して、まず、学校の雰囲気は職員室の雰囲気と直結しているということを強く実感した。研修校では、職員室に入った瞬間から明るく温かい空気が流れており、先生方同士が笑顔で挨拶を交わし、自然に会話をしている姿が印象的だった。日々の何気ないコミュニケーションが活発であるからこそ、情報共有や連携も円滑に行われ、それが学級経営や授業の安定につながっているのだと感じた。職員室が安心できる場であることは、学校全体の落ち着きや活気に大きく影響していると学んだ。

また、教員同士の仲の良さは、教育活動を支える重要な基盤であると実感した。掲示物作成や子どもについてなど、先生方が学年を越えて協力し合い、困ったときにはすぐに相談できる関係性が築かれていた。互いに支え合う姿勢があることで、先生方一人一人が余裕をもって子どもと向き合うことができているのだと思う。教員同士の信頼関係は、結果として子どもたちの安心感や学校への信頼にもつながっていると感じた。

さらに、教員が心から楽しんで授業や行事に取り組む姿は、子どもたちの様子にも大きな影響を与えていた。先生方が笑顔で活動に参加し、前向きな言葉をかけることで、子どもたちも生き生きと活動していた。教員自身が楽しむことは、単なる雰囲気づくりではなく、子どもたちの意欲や主体性を引き出す大切な要素であると学んだ。

そして何より心に残ったのは、子ども一人一人を大切にしている姿勢である。先生方は子どもの小さな変化にも気づき、丁寧に声をかけていた。できたことをしっかり認め、困っている子には寄り添い、安心できる居場所をつくっていた。その積み重ねが、子どもたちの笑顔あふれる学校生活を支えているのだと感じた。

今回の研修で、良い学校づくりは教員同士の温かな関係性と、子ども一人一人を尊重する姿勢の上に成り立っていることを学んだ。将来教員として働く際には、自分自身が教育を楽しみ、周囲と協力しながら、子どもたちにとって安心できる存在になりたいと強く思うようになった。

今回の研修では、先生方の様子や動きからたくさんの学びがありました。先生同士が普段からたくさん会話をすれば、お互いに何をどう協力していくか、自然な形で進んでいきますね。行事においても授業においても前向きに取り組むことができ、何かあったとしても、きっと落ち着いて対応していけるでしょう。その安心感・安定感はあなたが感じたように、子どもに伝わり、一人ひとりの成長に繋がります。そして個々の成長を先生方が大切にされ、その子に必要な声かけや支援によって子どもも笑顔になることが実感できましたね。これまで児童や生徒として過ごしていた学校という場で、改めて先生を見つめることで、自分の目指す姿が見えてきたようです。最後に書いた思いを忘れることなく、大事にして下さい。とても充実した5日間の研修だったと感じます。

～クラス担当スタッフからのコメント～

# 今後についての連絡

3月21日(土) 卒塾講義・卒塾式について【9時20分開始 12時30分終了】

【講義】(永松ホール) 佐藤 卓也 京都教師塾塾長

『市民・地域とともに進める京都の教育改革

～信頼される教員～』



【分散会】(各分散会会場) 各組に分かれてグループディスカッションを実施



【卒塾式】(永松ホール) 修了証書授与

式辞 稲田 新吾 京都市教育長

卒塾の言葉(卒塾生代表)

※スーツに準じた服装で来てください。

昼食時間は設定していませんので、  
ご了承ください。



## 授業実践講座②レポート／第20期京都教師塾 塾生質問紙について



授業実践講座②に参加した塾生は、受講日を含めて3日以内にレポートを作成し、塾生専用アドレス宛に電子メールで提出してください。

また、『第20期京都教師塾 塾生質問紙』の回答にもご協力ください。本質問紙は、今後の京都教師塾の運営に活かすために行うものであり、その他の目的には使用しませんので、率直な思いや考えを以下のQRコードより回答してください。(内容によっては、レポート集を見ながら答えてください。)

◆2月21日(土)授業実践講座② 参加者

⇒レポート提出／塾生質問紙回答 締切：2月23日(月)

◆2月28日(土)授業実践講座② 参加者

⇒レポート提出／塾生質問紙回答 締切：3月2日(月)

▼塾生質問紙 QRコード

QRコード